

もくじ

「かわいい」って「上から目線」？	4
漫画キャラクターって、どうして目が大きいの？	6
どうして女の子のイラストばかり描くの？	8
どうしてメイドさんが人気なの？	10
「メイドカフェ」って、子供でも入っていいの？	12
最近耳にする「萌え」って、どんな意味なの？	16
「漫画ばかり読むと、現実と虚構の区別がつかなくなる」って、ホント？	18
本物だってかわいいのに、どうして絵を選ぶの？	21
男なのに女の子の漫画が好きなのは、変？	24
漫画が好きって、はずかしい事？	30
どうして「オタク文化」を他の人にも説明するの？	32
謝辞	34

「どうして女の子のイラストばかり描くの？」

内容見本

※ 一部のページのみ掲載しています。

<http://kan-chan.stbbs.net/dojin/>

男 ← → 楼 妨 怒 敬 婚 堰 姐
勇 一 一 俵 妹 汝 妻 妻 宴 安
漢 男 女 娘 妙 如 姓 桜 嫁 押
虞 レ 姜 婿 妊 棲 始 菴 案
甥 を 姿 娘 導 接 姉 喜 靴
舅 を 娶 姪 媒 娵 姿 嫌 季
別 を 婢 妾 妃 嫡 嫉 姑 威
漢 別 數 姫 妬 女 娼 萎
字 字 茹 妹 媛 努 嬢 好 姻
鯨 要 婦 奴 娠 腰 嬰

漢字と同じです！

……って、答えに
なってないかも



「かわいい」って「上から目線」？



漫画のかわいいキャラクターが好きな人は多いけど、私は「かわいい」って言葉がきらいです。「上から目線」な気がしませんか？



なるほど、そう考えている人もよくいますね。確かに、大人や強い人間が、子供や動物など弱い存在を「かわいい」と呼ぶことがあります。でもちょっと待ってください。お母さんのことを「ママかわいい！」って言うこと、ありませんか？

「かわいい」という言葉、皆さんもよく使いますね。

でも、「かわいいというのは、自分より下の無力な存在を支配したいという思いの表れだ」と言っている人も一部にいます。要するに「上から目線」なんじゃないか、という意見です。

上下関係を円滑にする潤滑油

でも、ちょっと考えてみてください。もしそれが正しいとしたら、私たちの普段の「あいさつ」は、どうでしょう。目上の人には「ございます」を付けなければいけない、といった、明らかに上下関係を意識したあいさつもありますが、それは「上から目線」でしょうか。必ずしもそうではないし、同じ上下関係でも、いばったような関係ではなくて、あいさつをうまく使って、お互いニコニコできる関係になるのがいいですね。



「あいさつ」とは、「私はあなたを攻撃しませんよ」という、いわば「武装解除」のアピールであり、相手に対する親愛の情の表れです。「かわい

い」にも同じことが言えるのではないのでしょうか。

隙を見せるのは信頼の現れ

「かわいい」にも、いろんな種類があります。

まず、見た目のかわいらしさとか、「無邪気でユーモラスな仕草」のかわいさがあります。仔犬が自分のしっぽを追いかけ回したり、仔猫が毛糸玉を追いかけ回したりしている様子を見て、可愛い、微笑ましいと思う人は多いでしょう。

漫画では、わざと2等身くらいにして幼く描いた「ちびキャラ」が登場することがあります。無邪気なコロコロした外見で、コミカルなしぐさをするキャラクターに対し、ちょうど小動物を目にした時のように、思わず親愛の情を抱いてしまうものです。

そして、人や動物の「幼さ」「隙のあるところ」「アホな部分」から「ユーモア」が生まれる事は少なくありません。たとえば漫才は、ツッコミ役の話をほとんど理解してるようでいて、ほんの一部だけ「ズレているところ」があると、そこが面白いのです。

いつも何かとドジを踏んでしまう人なのに、「何だか憎めなくてかわいい」という事があるかもしれません。

一見強がっていて、相手に冷たいように見えても、実はさみしがり屋さんだったり、相手の事を想っていたりと、そんな隙を言動からチラッとのぞかせてしまう、そんなギャップの面白いキャラクターも、漫画ではよく見かけます(これは昔からあるお決まりパターンですが、最近「ツンデ

レ」と呼ばれるようになりました)。

なるほど、これらは「幼さ」「隙」「愚かさ」といった、ある意味「人間の弱い部分」から生まれるユーモアかもしれません。「それこそ、自分より下の無力な存在を支配したいという欲求の表れ」でしょうか？

考えてみましょう。いつも「よそゆきの顔」をしている人と、適度に隙を見せてくれる人、どちらとお友達になりたいですか。ふつうは、適度に隙を見せてくれる人の方が親しみが湧くものです。「相手を信頼している」からこそ「隙を見せる」わけですから。

上下関係だけではない

加えて言うなら、「かわいい」という言葉は、目上の人に使われる事もあります。たとえば「ママかわいい！」「パパかわいい！」と言うことはありませんか。服やアクセサリーがかわいかったり、お茶目な事をしていると、思わずそう言ってしまうかもしれません。もちろん親しい人に限った事なのかもしれませんが、ここまで来ると、『『かわいい』は『上から目線』？』という疑問のヒントらしきものが見えてきたのではないのでしょうか。

あくまでも私個人の考えですが、「かわいい」は、時と場合によっては、なれなれしい「タメロ」に聞こえてしまう事があるのかもしれません。人を「ちゃん」付けで呼ぶのと同じで、目下の人や動物などに対してとか、上下関係にかかわらず親しい間柄で、あるいは面識がなくとも相手に親しみを感じている場合に使う、そんな言い方というわけです。

『タメロ』は『支配欲』でしょうか。必ずしもそうではありませんね。

日本は「かわいい」文化の発信地

日本は「かわいい」文化の発信地、とも言わ

れます。ハローキティは世界的人気ですし、最近はおとぎ話のお姫様のような「姫系」とか「ロリィタ」と呼ばれるファッションも、海外で真似する人が出始めています。

比較的治安が良くて礼儀正しい人が多い事や、世界の平均からするならあまりにも「お人好し」なくらい他人を信用する事、これこそが、日本文化が「可愛い」を重視する理由の一つなのではないかと私は思います。

つまり、「可愛い」を「未成熟の表れで、自分の弱さを無防備にも他人にさらけ出す危険で愚かな行動」と悪者扱いする代わりに、「自然な親愛の情の表現」「人間関係を円滑にする要素」と好意的な見方をしているように思えます。

良い方法で活用しよう

もちろん、「かわいい」という言葉を悪用する人もいます。結婚詐欺師は「君はかわいいね」と言うかもしれませんし、誘拐犯は「少女がかわいかったから」と言い訳をするかもしれません。

しかし、悪い使い方があるから、良い使い方がないという意味ではありませんね。相手が悲しむ方法ではなくて、自分も相手もニコニコできる方法で使いたいものです。

あるいは架空の物語であっても、「かわいい」という要素をうまく使えば、その登場人物に余計に親しみを持たせる魅力となるに違いありません。

もちろん時と場合をわきまえつつも、うまく活用していきましょう。

漫画キャラクターって、どうして目が大きいなの？



漫画のキャラクターって、目が顔の半分くらいの大きさだったり、現実離れしています。それに、デザイン感覚があまりにもなさ過ぎるようなもも感じます。



漫画は昔から「誇張」の文化です。ミッキーマウスも目が大きいし、新聞の政治風刺漫画も、二等身でおおげさな動きをしていたりしますね。

昔のアメリカの漫画・アニメ映画の影響や、昭和初期に少女雑誌や婦人雑誌のイラストを描いていた中原淳一らの影響など、いろんな説があります。少なくとも、手塚治虫よりもっと昔の話です。「ミッキーマウス」とか「ベティ・ブーブ」など、アメリカ生まれのまんまるお目々のキャラクターは今でも広く親しまれていますが、このように、目を大きく誇張して描く事は、うんと昔から広く使われてきた、漫画やイラストの表現テクニックです。

でも、なぜ目をわざと本物より大きく描くのでしょうか。それは、人間がものを見る仕組みに関係があるようです。

たとえば、有名人や政治家の似顔絵が新聞や雑誌などに載ることがありますが、体の寸法の割合を、本物とぴったり一致させて描くことは、あまりありません。大人なのに二頭身くらいに描くことも少なくありません。顔をうんと大きく強調して描くことで、表情がよく見えるものです。

それに加えて、目を強調することもよく使われるテクニックです。瞳や目を本物よりちょっと大きめに描いてみたり、わざと小さく描く時でも、細目にしてみるとか、まん丸に描いて、目の位

置もうまく工夫すると、途端にかわいく見えるものです。

それはなぜかという、人間は顔や目に特に注目して見るからです。目立つ部分を強調して描くと、本物より「それっぽく」見えることすらあります。

ものまね芸人にも、外見も声もまるでそっくりという人もいれば、外見や声はぴったりと似てはいないけど、芸でカバーするタイプの二種類いますが、なぜか後者の方が観客の印象に残る

ことがありますね。同じ「美川憲一」「千昌夫」「長嶋茂雄」のものまねでも、「特に目立つ特徴や決めゼリフ」をうまく抜き出して強調すると、外見や声そのものがそれほど似ていなくても、何だか本物



より特徴が出て似ているように錯覚してしまうものです。それと同じ仕組みです。

絵というものは、ありのままの姿を 100%そのまま伝えることはできません。線と色塗りだけで表現する、漫画やアニメのイラストは特にそうです。でも、「そのデメリットをどうカバーして、本物の魅力をみんなに伝えるか」というのが、「絵のおもしろさ」であり、「絵を描く人ひとりひとりの個性が出る場所」とも言えます。